

(進捗状況評価凡例 平成27年度末までの取組内容を踏まえた平成23年度から平成26年度までの進捗状況
◎：達成 ○：順調に進捗 △：進捗がやや遅れている ×：未着手)

枚方市立図書館第2次グランドビジョンの進捗状況一覧（平成23年度～平成26年度）

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成23年度～平成26年度の実績	進捗状況の評価	平成27年度の取組予定(継続的な取組は除く)
1 市民の生涯学習を支援する図書館をめざします	1-1	図書館利用者層の拡大	① 利用者の年齢層にも配慮した図書館活動や広報活動の推進によって、実利用者率(★注1) 25%をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 年齢層を意識したおはなし会や各種行事の実施及び図書館だよりやホームページ等を用いた広報活動の実施により利用促進を図る。 中学生への利用促進のための取組を行う。 開架フロアでの積極的な書架案内や資料案内を行うなど、市民と職員が向かい合う人と人とのサービスを充実することで、利用促進を図る。 平成27年度の実利用者率25%をめざす。 	<p>(毎年度) 乳幼児対象のおはなし会から成人読書会や大人のためのおはなし会など、年齢層を意識した各種行事や図書館来館のきっかけづくりとしてのミニコンサートを開催した。</p> <p>(毎年度) イベント情報や購入図書情報などを掲載した「図書館だより・新着図書案内」の発行やホームページを通じた情報発信を行った。</p> <p>(平成24年度～) 中央図書館及び各分館への「ティーンズコーナー」の設置や、「中学生の調べ学習コンクール」の開催など中学生への利用促進のための取組を行った。</p> <p>(毎年度) 子ども向け図書館利用案内を市立小学校全校の新1年生に配布した。</p> <p>(平成25年度～) 「高校生向けのおすすめ本リスト」を作成、市内公私立高校や図書館カウンターで配布。</p> <p>(平成25年度～) 「はたちのつどい」パンフレットに、図書館案内等を盛り込み20代の利用促進を図った。</p> <p>(平成26年度) 新中学1年生に向けた利用案内を新たに作成した。</p> <p>○実利用者数及び人口比の推移は、 (平成23年度) 83,569人(20.4%)成人67,374人、児童16,195人 (平成24年度) 79,524人(19.4%)成人64,814人、児童14,710人 (平成25年度) 76,661人(18.8%)成人62,531人、児童14,130人 (平成26年度) 74,215人(18.3%)成人60,260人、児童13,955人</p> <p>○新規登録者数は、 (平成23年度) 11,392人、(平成24年度) 9,855人、(平成25年度) 9,737人、(平成26年度) 10,555人</p> <p>実利用者数及び対人口比は、図書館来館を促すイベントやホームページでの積極的なPR等取組みを行ったが上昇にはいたらなかった。楠葉・牧野図書館では、施設改修のため長期休館をすることとなった(予約図書の受け渡し、より長期となる楠葉では自動車文庫の臨時運行を実施)。</p>	△	利用者層の拡大のため、中央図書館10周年を記念したイベントを各季節ごとに実施するとともに、市民の注目度を向上させる。日常的に行う児童向けのお話会や工作教室といった行事を始め、地元のアーティスト「ミロコマチコ氏」を招いてのワークショップ、高齢者や視覚・聴覚障害者を対象とした映画会の開催。11月3日の文化の日には、リサイクル本のコーナーや手話でやってみる絵本の読み聞かせ講座、歌と音楽で楽しむお話会の実施など中央図書館全館を使つてのイベントを行い、市民の図書館に来るきっかけ作りを実施する。また、利用者へのレファレンスや調べ物資料の紹介など、日常的に図書館で行うサービスの質を向上させて、より市民に信頼され、活用される図書館の運営を行っていく。
			② 枚方市子ども読書活動推進計画(第2次)を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市子ども読書活動推進計画(第2次)を策定する。 	◎		
	1-2	子ども読書活動の推進(学校図書館等との連携)	② 各種イベントの継続によって、乳幼児・児童から中学生を中心とするヤングアダルト(YA)(★注2)層までの子どもたちが読書に親しみ、読書を楽しめる環境づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」の進捗管理表(別紙)に基づき、図書館としての取組を行う。 	<p>(平成23年度) 第1次枚方市子ども読書活動推進計画に基づき、主として乳幼児の読書活動推進に努めた。</p> <p>(平成24年度) 中央図書館2階にティーンズコーナーを設置し、中学生へのおすすめ本リストを発行、第1回中学生の調べ学習コンクールを開催した。</p> <p>(平成25年度) 中央図書館4階、7分館にもティーンズコーナーを設置し、高校生へのおすすめ本リストを発行、第2回中学生の調べ学習コンクール、中学生の課外授業「いのちのメッセージ」を開催した。</p> <p>(平成26年度) 乳幼児の読書活動推進に努めるとともに、ヤングアダルト図書の整備につとめた。また、中学生へのおすすめ本リストを発行、第3回中学生の調べ学習コンクールを開催した。</p>	○	
			③ 中央図書館2階のこどものフロアの開館時間を午後7時まで延長する。	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市立図書館条例施行規則の改正を行う。 中央図書館2階のこどものフロアの午後7時まで開館を実施する。 	(平成24年度以降) 平成24年4月1日から、平日は午後7時まで開館時間を延長した。	◎	
			④ 学校図書館への技術的・実務的支援を行うなど、市立図書館と学校図書館の連携を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」の進捗管理表(別紙)に基づき、図書館としての取組を行う。 	<p>(平成23年度から25年度) 学校図書館へのサービスとして、全校に周知して希望を調整し、団体貸出や学校訪問おはなし会を実施した。</p> <p>(平成26年度) 上記に加え、学校図書館へ司書を3人を派遣するとともに、図書貸出のための搬送サービスを開始した。</p>	◎	団体貸出図書配本事業については、配本校数を増やし、配本パックを学年ごとに分けるなど利便性向上を図る。
			⑤ 子ども読書活動を支援するボランティアや団体の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」の進捗管理表(別紙)に基づき、図書館としての取組を行う。 	<p>(平成23年度) 初心者のための読書ボランティア養成講座や読書ボランティア交流会を開催した。「ひらかた読書ボランティアのなつやすみおはなし会」や、ボランティア主催のおはなし会のために図書館集会室等を提供するなど、ボランティア支援に努めた。</p> <p>(平成24年度) 上記のほか、あらたに、活動中の読書ボランティアのためのスキルアップ講座を1回開催し、54人の参加があった。</p> <p>(平成25年度) 上記のほか、スキルアップ講座を2回開催し、100人の参加があった。</p> <p>(平成26年度) 上記のほか、スキルアップ講座を2回開催し、76人の参加があった。</p>	○	

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成23年度～平成26年度の実績	進捗状況の評価	平成27年度の取組予定(継続的な取組は除く)
1 市民の生涯学習を支援する図書館をめざします	1-3	成人サービスの充実	① 図書や雑誌、オーディオビジュアル資料、商用オンラインデータベース(★注3)などの幅広い情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 成人利用者向けの図書や雑誌、オーディオビジュアル資料の充実を図る。オーディオビジュアル資料については、受賞経歴、歴史的評価、その他映画・音源資料の価値に留意しつつ、評価の定まったものを中心に市民の需要も考慮しながら収集する。 商用オンラインデータベース等電子情報の提供を行う。 	<p>(平成23年度) DVD購入89点、寄贈248点、CD購入31点、寄贈97点であった。雑誌購入延べ1,132タイトル、寄贈51タイトルであった。新聞延べ63タイトル、寄贈21タイトルであった。</p> <p>(平成24年度) DVD購入262点、寄贈75点、CD購入127点、寄贈95点であった。雑誌購入延べ1,161タイトル、寄贈52タイトルであった。新聞延べ66タイトル、寄贈0タイトルであった。</p> <p>(平成25年度) DVD購入90点、寄贈144点、CD購入178点、寄贈22点であった。雑誌購入延べ1,120タイトル、寄贈51タイトルであった。新聞延べ63タイトル、寄贈20タイトルであった。</p> <p>(平成26年度) DVD購入114点、寄贈159点、CD購入56点、寄贈19点であった。雑誌購入延べ1,124タイトル、寄贈54タイトルであった。新聞延べ63タイトル、寄贈20タイトルであった。商用オンラインデータベースデータベース延べ利用者は22人であった(統計数値は平成26年度のみ)。</p>	○	
			② 読書会・講演会など成人向け図書館文化活動を実施し、成人利用の増進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 成人利用者向けの読書会や行事を実施する。 	<p>(平成25年度) 中央図書館玄関ロビーで関連本を背景にクリスマスコンサートを開いた。(123人)</p> <p>(平成26年度) ロビーコンサートと時間限定カフェを実施した。(約150人)</p> <p>(毎年度) 成人を対象とした読書会を実施した。平成23年度は88回441人、平成24年度は77回456人、平成25年度は74回350人、平成26年度は123回827人の参加があった。</p> <p>(毎年度) 成人を対象とした障害者理解を促進するバリアフリー映画上映会を実施した。平成23年度は1回42人、平成24年度は1回77人、平成25年度は1回55人、平成26年度は2回89人の参加があった。</p> <p>(毎年度) 成人を対象とした障害者理解を促進する手話ブックトークを実施した。毎年3回実施し、平成23年度49人、平成24年度56人、平成25年度30人、平成26年度58人の参加があった。</p>	○	
	1-4	高齢者充実サービス	① 高齢者の生涯学習や生きがいづくりにつながる高齢者向けの図書等を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の関心が高い資料を収集し、特集を組む。 高齢者の関心が高いテーマのブックリストを作成、配布するとともにホームページでも公開する。 	<p>(毎年度) 高齢者に利用が高い大活字本の収集を行った。</p> <p>平成23年度は125冊、平成24年度は306冊、平成25年度は158冊、平成26年度は205冊購入した。また、病院一覧や薬剤情報などの資料は毎年継続して購入しており、利用者は多い。</p>	○	
2 図書館資料を計画的・系統的に収集し、未来に伝える図書館をめざします	2-1	図書館資料の充実	① 枚方市立図書館蔵書計画及び資料選書基準等を策定し、図書館資料を計画的かつ系統的に収集するだけでなく、蔵書の特色づくりを推進し、魅力ある蔵書の構築と図書館資料の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 資料選書基準等を含めた枚方市立図書館蔵書計画を策定する。 図書館資料の計画的・系統的な収集と蔵書の特色づくりの推進のため、成人選書会議、児童選書会議、リクエスト会議などを開催し選書を行う。 魅力ある蔵書の構築のため、資料収集とともに蔵書メンテナンスを継続的に行う。 	<p>(毎年度) 資料収集にあたっては、枚方市立図書館蔵書計画(平成23年度策定)に基づき、各図書館の蔵書の現状や蔵書バランス、利用者ニーズ等を踏まえて、各図書館で1次選書を行った上で、中央図書館の選書会議において、全館の蔵書バランス等を等に配慮した選書を行うなど、職員の専門的な知識・経験を活かした選書を実施した。</p> <p>(毎年度) 蔵書の利用頻度や発刊年、書棚の並び状況等を定期的に調査し、より利用の見込めるものや新刊との入れ替えを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般書の蔵書冊数は、平成23年度は1,274,806冊、平成24年度は1,254,700冊、平成25年度は1,266,282冊、平成26年度は1,267,482冊であった。 オーディオビジュアル資料の所蔵点数は、平成23年度は9,221点、平成24年度9,725点、平成25年度は10,041点、平成26年度は10,013点であった。 	○	
	2-2	枚方地域コレクションの構築と専門的なレファレンス	① 枚方について書かれた資料、枚方が登場する資料、枚方に縁のある資料など、枚方に関わる資料を幅広く収集し、「枚方地域コレクション」を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市立図書館蔵書計画等に基づき、枚方地域コレクションを収集する。 枚方地域コレクションの公開基準を定めそれに基づき公開する。 地域行政・郷土資料・枚方関連の新聞記事のPDF(★注4)化を実施し、レファレンスに活用する。 	<p>(平成23年度) 地域行政・郷土資料・枚方関連の新聞記事をPDF化して資料として蓄積する取り組みを行なった(蔵書冊数: 23,309冊)。</p> <p>(平成24年度) 枚方関連のデータを、窓口でのレファレンスに活用できるよう内部で共有した(蔵書冊数: 23,301冊)。</p> <p>(平成25年度) 蔵書の中から「枚方地域コレクション」を検索しやすくするためのデータ入力や内容情報の追加入力により書誌データを整備し、WEB上で当該資料を検索できるシステムを構築した(蔵書冊数: 25,569冊)。</p> <p>(平成26年度) 枚方地域コレクションの認知度向上のため、市主催事業と連携して図書購入や紹介記事を作成しホームページで発信したほか、公開基準については行政発行物の公開に向けた環境整備等の課題を検討した(蔵書冊数: 27,429冊)。</p>	○	
			② 枚方地域コレクションに関する簡単な質問から専門的なレファレンス(調べもの相談)に至るまで幅広く対応する。	<ul style="list-style-type: none"> 市史資料室と連携し枚方地域コレクションに関するレファレンスサービスを実施する。 枚方地域コレクションに関するレファレンス事例を蓄積し、パスファインダー(★注5)を作成し図書館に設置するとともに図書館ホームページ上で公開する。 	<p>(平成23年度) 文化財課市史資料室と連携し、枚方地域コレクションに関する資料の調査を行ない資料の収集を計画的に進めた。またレファレンス事例の蓄積に努めた。</p> <p>(平成24年度) 資料収集を計画的に進め、地名の由来など専門的な情報に関するレファレンスサービスを行なった。</p> <p>(平成25年度) 資料収集を計画的に進め、パスファインダーを「健康・医療」など2種類作成し調べもの支援として公開した。</p> <p>(平成26年度) 行政資料の収集について全庁的な周知を定期的に行ない、漏れなく収集するよう努めた。また市史資料室の協力を得て、市史のレファレンスというテーマで職員対象の研修を実施し、スキルの向上を図った。ニーズの高い「地図」などのパスファインダーを5種類作成し調べもの支援として公開した。国立国会図書館デジタルコレクションによる情報提供を10月1日から行った。</p> <p>(毎年度) 市史資料室における市史にかかる問合せに対する回答を行った(来室、電話等)。</p> <p>(平成23年度) 283件 (平成24年度) 338件 (平成25年度) 308件 (平成26年度) 246件</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立国会図書館や大阪府立図書館等による資料の借り入れや新聞データベースの提供も行っている。 	○	

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成23年度～平成26年度の実績	進捗状況の評価	平成27年度取組予定(継続的な取組は除く)
3 市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします	3-1	サイバーサービスのネット推進 予約システムの充実やリクエスト	① インターネット予約システムの利便性を高める工夫を行い、利用を促進する。	・インターネット予約システムを、複数の資料をまとめて予約できる「カート方式」や、シリーズものなどをまとめて予約し順次貸出を受けることができる「セット予約」に対応できるよう改良し、利便性を向上させる。	(平成23年度) インターネット経由の予約数、554,666件(全体の予約数の74.7%) システム改修により、複数の資料をまとめて予約できる「カート方式」やシリーズものをまとめて予約し、順次貸出を受ける「セット予約方式」の導入とともに、利用者が予約待ち人数を自分で把握できるようにして、利用者の利便性を向上させた。このことにより、インターネット経由の予約数が前年比32%の増加となった。 (平成24年度) インターネット経由の予約数、561,678件(全体の予約数の70.8%) (平成25年度) インターネット経由の予約数、565,063件(全体の予約数の73.4%) (平成26年度) インターネット経由の予約数、566,019件(全体の予約数の74.4%)	◎	
			② リクエストは、市外図書館等との相互貸借(★注6)等を通じて、可能な限り対応する。 ※予約：特定の図書館蔵書を取り置くよう希望を出すこと ※リクエスト：図書館未所蔵の資料の提供を求めること	・市民からリクエストのある資料については、公共図書館間の相互貸借により可能な限り応える。	・(毎年度) 相互貸借を基本に可能な限りリクエストに対応した。 ・市外図書館からの図書の借受冊数 (平成23年度) 7,482冊 (平成24年度) 7,607冊 (平成25年度) 5,240冊 (平成26年度) 5,003冊 ・予約・リクエスト受付件数 (平成23年度) 742,566件 (平成24年度) 792,978件 (平成25年度) 769,304件 (平成26年度) 761,209件	○	
	3-2	(レファレンスサービス)等の充実	① レファレンスサービス・読書相談機能の積極的な利用を働きかける。	・市民の求めに応じ、学習・研究・調査等に必要な資料や情報の検索援助、資料の提供、読書相談などを行うとともに、カウンター等の表示や利用案内、ホームページ等でサービスの周知に努める。 ・レファレンス協同データベース(★注7)等を活用し、より高度なレファレンスサービスを行う。 ・レファレンス事例集や問い合わせの多いテーマの調べ案内(パスファインダー)を作成し図書館に設置するとともにホームページで公開する。	(平成25年度) レファレンス事例の蓄積から、調べ案内(パスファインダー)を、「健康・医療」など2種類、図書館に資料を置くとともに図書館ホームページ上で公開した。 (平成26年度) レファレンス事例の蓄積から、調べ案内(パスファインダー)を、「地図」など5種類作成し、図書館に資料を置くとともにホームページで公開した。 (毎年度) 市民の求めに応じ、レファレンス協同データベース等を活用し、学習・研究・調査等に必要資料や情報の検索援助、資料の提供、読書相談などを行うとともに、窓口カウンターでのPR表示の設置、広報ひらかたやFMひらかた等でレファレンスサービスの周知に努めた。	○	
	3-3	情報通信機器を活用したサービスの充実	① 商用オンラインデータベースなどの情報通信機器を生かしたサービスの提供を推進する。	・インターネット端末の利用を促進する。 ・商用オンラインデータベースをホームページや「図書館だより」などで使い方も含めたPRを行い、利用促進を図る。	(毎年度) 商用オンラインデータベース(レクス・ネクシス・ジャパン[日本法総合オンラインデータベース]、日経テレコン21、官報情報検索サービス)及び利用者用インターネット端末を利用に供した。 ・商用オンラインデータベース用端末を含むインターネット端末の利用件数 (平成23年度) 6,428人 (平成24年度) 6,831人 (平成25年度) 6,961人 (平成26年度) 7,223人	○	
			② 電子書籍の動向について積極的に調査研究を行う。	・電子書籍に関する情報収集を行うとともに、電子書籍の貸出サービスを導入した公共図書館の動向、並びに図書館での貸出にあたり必要となる電子書籍の著作権処理等に関する調査研究を行う。 ・市立図書館に導入することを想定した場合の電子書籍の範囲、必要なコンピュータシステム等について検討する。	・電子書籍の導入に向けた調査研究を行ったが、現在は電子書籍提供企業間での規格の不統一や資料の蓄積・タイトル数、コスト、コンテンツの魅力などに課題があり、現時点での導入は時期尚早であると判断した。	○	業界及び先行市の動向を注視し、電子書籍導入に向けて積極的に情報収集を行っている。
	4 しだれもが使いやすく、市民とともに歩む図書館をめざす	4-1	障害者・高齢者サービスの充実	① 大活字図書、点字・録音資料、手話・字幕付き映像資料を充実する。	・バリアフリー図書(点字資料・大活字資料・デージー(★注8)資料、漫画など)の充実を図る。	(毎年度) 高齢者からの需要が多い大活字図書の購入、視覚障害者向けの点字資料・録音資料、カセットテープ、デージーの製作、聴覚障害者向けの手話・字幕付き映像資料の製作等により資料を充実した。 ・大活字資料：(平成23年度) 125冊、(平成24年度) 306冊、(平成25年度) 158冊、(平成26年度) 205冊購入 ・点字資料：(平成23年度) 3タイトル、(平成24年度) 0、(平成25年度) 2タイトル、(平成26年度) 14タイトル ・録音資料：(平成23年度) 72タイトル(カセット23、デージー49)、(平成24年度) デージーのみ96タイトル、(平成25年度) デージーのみ118タイトルと朗読CD72タイトル、(平成26年度) デージーのみ74タイトル。カセットについては、所蔵し貸出もしているが製作等受入の主流はデージーとなっている。 ・手話字幕付き映像資料：(平成23年度) 7タイトル、(平成24年度) 11タイトル、(平成25年度) 7タイトル、(平成26年度) 7タイトル	○
② 対面読書サービスを引き続き実施する。				・対面読書サービスを継続的に実施し、視覚に障害のある市民への読書活動の推進を図る。 ・サービスを担う音訳協力者の技術向上に向けた研修を実施する。	・対面読書サービス (平成23年度) 13人、546回、(平成24年度) 14人、375回、(平成25年度) 13人、362回、(平成26年度) 14人、390回 ・音訳協力者を対象としたフォローアップ学習会を平成24年度から実施。 (平成24年度) 15回、239人、(平成25年度) 9回、104人、(平成26年度) 6回、89人 ・ボイストレーニング (平成25年度) 3回、39人 ・音訳者パソコン録音学習会 (平成25年度) 1回、10人、(平成26年度) 1回、18人	○	

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成23年度～平成26年度の実績	進捗状況の評価	平成27年度取組予定 (継続的な取組は除く)
だれもが使いやすい、市民とともに歩む図書館をめざします	4-1	障害者・高齢者サービスの充実	③ 手話で楽しむおはなし会などのバリアフリー行事を引き続き実施する。	・「バリアフリー映画上映会」「手話で楽しむおはなし会」「手話ブックトーク」を実施し、聴覚に障害のある市民への読書活動推進および聴覚障害に対する理解促進を図る。	・（毎年度）バリアフリー映画上映会を実施した。平成23年度は1回42人、平成24年度は1回77人、平成25年度は1回55人、平成26年度は高齢者支援として日本語字幕付きのものも上映し2回89人の参加があった。 ・（毎年度）手話で楽しむおはなし会を実施した。平成23年度は12回239人、平成24年度は12回287人、平成25年度は12回251人、平成26年度は12回251人の参加があった。 ・（毎年度）手話ブックトークを実施した。平成23年度は3回49人、平成24年度は3回56人、平成25年度は3回30人、平成26年度は3回58人の参加があった。	○	
			④ 図書館利用が困難な障害者・高齢者等への宅配サービスについて調査研究を進める。	・障害者向けの宅配サービス導入の可能性及び民間事業者を活用した宅配サービス導入の可能性について検討を行う。	・（平成26年度）平成26年7月から、枚方市立図書館条例施行規則の改正及び実施要綱を定め「図書宅配サービス」を開始した。健常者、障害者に関わらず利用が可能で、一定条件を設けて障害者には送料の免除や軽減などを設定した。平成26年度利用延べ51人、貸出399冊。利用登録者は21人であった。	○	
	4-2	図書館活動への市民参加と市民意見の反映	① 図書館ボランティアの活動を一層発展させるとともに、ボランティアが幅広く自主的に活動できるシステムづくりを進める。	・図書館ボランティアに対して活動内容ごとの研修を実施し、スキルアップを図る。 ・ボランティアの活動内容別のグループ化に向け、協議・調整を行う。 ・各グループごとの活動を中心にボランティア同士が交流を図りながら中央図書館でのボランティア活動を行う。	（毎年度）中央図書館ボランティアにあつては、おはなし会、書架整理・案内、図書修理、枚方市関係の新聞記事収集などの活動を継続的に100名程度のボランティアが活動を行っている。登録人数は100名程度となっており、5年以上の継続者には表彰を行っている。 分館でも読み聞かせボランティアによるお話会の実施など自主的な活動が根付いている。 （平成23年度）129人が登録し活動を行った。5年継続者25人に感謝状を贈呈した。 （平成24年度）121人が登録し活動を行った。5年継続者15人に感謝状を贈呈した。 （平成25年度）121人が登録し活動を行った。ボランティア同士が交流し、技術の継承を行いながら活動できる環境づくりを推進するために、活動内容ごとにグループ制を導入した。また、グループごとに書架整理研修や修理技法、読み聞かせの研修などを実施した。5年継続者4人に感謝状を贈呈した。 （平成26年度）99人が登録し活動を行った。5年継続者9人に感謝状を贈呈した。	○	平成27年度には中央館のボランティアを追加募集する。
			② 市民や学識経験者などで構成された外部委員会から意見を聞く。	・図書館運営に第三者の意見を反映させるため、外部委員会として枚方市社会教育委員会議で意見聴取を行う。	（毎年度）社会教育に係る市民団体代表や学識経験者で構成する枚方市社会教育委員会議において、毎年度第2次グランドビジョンの進捗状況を報告し、意見を聞き、今後の図書館運営の参考とした。	○	
			③ ご意見箱を置くなど積極的な市民意見の収集に努める。	・図書館利用アンケートの実施、中央図書館・市駅前サテライトへのご意見箱の設置、市長への提言等を活用し、市民意見の収集に努める。	（平成23年度）ご意見箱95件、市長への提言等17件 （平成24年度）ご意見箱51件、市長への提言等7件 （平成25年度）ご意見箱61件、市長への提言等12件、市政モニターアンケートを実施 （平成26年度）ご意見箱175件、市長への提言等6件	○	
	4-3	図書館の施設・設備の改修・改善	① 市の市有建築物保全計画の枠組みの中で、必要な施設等の改修を図る。	・市の市有建築物保全計画の枠組みの中で、必要な施設等の改修を行う。	（平成23年度）香里ヶ丘図書館及び氷室分室の外建具改修工事を実施した。 （平成24年度）楠葉・蹠跢・牧野・津田図書館の電気設備・給排水設備・空調機等の改修及び藤阪・宮之阪分室の設備改修を行った。 （平成25年度）楠葉・御殿山図書館の屋根防水・給排水設備の改修及び香里園分室の屋根・空調設備の改修を行った。 （平成26年度）中央・楠葉・菅原・蹠跢・牧野・津田図書館の内装・電灯設備・空調設備・昇降機設備・給排水設備及び宮之阪・氷室分室の屋根・外壁・建具更新等を行った。	○	御殿山・牧野・菅原図書館の防災設備・電灯設備・外壁等の改修を行う。
			② 香里ヶ丘図書館については、バリアフリー化や耐震化の観点から早急に改修・改善を検討する。	・耐震診断を実施する。 ・施設改修の時期及び内容を検討する。 ・必要な改修工事にかかる設計委託を行う。 ・必要な改修工事を行う。	（平成24年度）耐震診断を実施し、耐震性能に問題はないことが明らかになった。 （平成26年度）香里ヶ丘図書館の老朽化の進行、狭隘な閲覧室、バリアフリー化の遅れ等を理由として、香里ヶ丘図書館建替えに向けた検討を進めた。	○	

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成23年度～平成26年度の実績	進捗状況の評価	平成27年度の取組予定(継続的な取組は除く)
効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします	5-1	効率的効果的な運営体制の構築	① 将来を見据え、正職員司書を中核として、多様な任用形態の職員も活用して最適な職員配置の具体化に向けて取り組む。	・多様な任用形態の職員を活用した職員配置を行う。	・(毎年度)正職員の図書館司書資格者を中心とした運営を継続しながら、図書館サービス従事員(任期付短時間勤務職員)の積極的な配置を行うなど、効率的・効果的な運営体制の構築に努め、サービスの向上を図りながら人件費を削減した。 ・人件費の推移 (平成23年度) 699,216千円 (平成24年度) 618,555千円 (平成25年度) 606,358千円 (平成26年度) 631,358千円(精査中) 平成26年度は一部の臨時職員の業務を、図書館サービス従事員の業務に置き換えたため人件費が増加した。	○	
			② 中央図書館、地域館、分館、分室の図書館各施設と自動車文庫については、市内全域サービスを基本としながら、最適な役割分担と配置をめざして「選択と集中」を進め、図書館システムの簡素化を図る。	・自動車文庫のステーションの設置場所を見直す。 ・中央図書館、地域館、分館、分室の図書館各施設と自動車文庫それぞれの役割を踏まえ、サービス向上と効率性の観点から管理運営について検討を行う。	(平成24年度)安全面で課題のある路上駐車を見直し、3ステーションを移設した。4月にフランスハイツステーションを杉山中央公園内に、6月に村野東ステーションを桜丘北小学校正門内に、枚方ハイツステーションを高野道南公園内に移設し、住宅街の東池之宮ステーションを除き、路上設置のステーションがなくなった。利用における安全が確保され、利用しやすくなったことにより、公園内に移設したステーションの利用が増加傾向にある。 (平成26年度)中央図書館と分館については、中央図書館を司令塔としながら、平成28年度に2分館、平成30年度に4分館へ指定管理者制度を導入し、効率的効果的な管理運営体制の構築を行うとした。	○	分室と自動車文庫の役割と運営のあり方について検討を行い、第3次ランドビジョンに反映していく。
			③ 分室は、サービス圏域や利用状況を踏まえて、施設管理上の安全性やバリアフリーの観点からも、抜本的な再構築を図る。	・サービス圏域や利用状況、施設のバリアフリー状況、全域サービスの観点も踏まえながら、分室の再構築のあり方について検討する。 ・分室の再構築を図る。	(平成26年度)今後の分室のあり方について検討を行い、地域のつながりが薄れてきている現状を踏まえ、分室に図書館サービスだけでなく、地域の人々の「居場所」としての機能を付加し、今後運営を行っていく方向性を定めた。	○	
			④ 中央図書館、地域館、分館、分室の開館時間帯についても、利用状況に即して見直す。	・各施設の時間帯ごとの利用状況の調査を実施する。 ・各施設の開館時間帯の最適化に向けた検討を行う。 ・各施設の開館時間帯の見直しを図る。	(平成24年度)4月から中央図書館のこどもフロアの開館時間を午後7時まで延長。 (平成26年度)分室の居場所機能の充実のため、2分室の午前時間帯の開室延長を2ヶ月実施して検証した。 (毎年度)中央・分館・市駅前サテライトにおいて夜間5・6・7時の入館者数調査を継続して実施し、利用の実態把握に努める。	○	・藤阪分室：6月から通年の午前開室試行 ・宮之阪分室：7月～8月の2ヶ月午前開室試行 ・氷室分室：7月～8月の午前開室(拡大)を実施し貸出冊数や新規登録者数、来館者数などの成果を検証する。
	5-2	と職 人員 材の 育 成 質 の 向 上	① 業務の専門性を踏まえた幅広い研修や実習を行い、図書館職員の資質の向上を図るとともに、リーダーシップのとれる人材を育成する。	・図書館業務に関する関係機関が実施する研修会へ職員を参加させるとともに、館内でも職員に対する研修を実施する。 ・その他職員の育成に必要な研修を行う。	・(毎年度)国立国会図書館や、大阪公共図書館協会・日本図書館協会等による図書館業務に関する研修に積極的な参加を促進し、参加者から他の職員へ報告を行って研修成果を広げた。 ・障害者サービスや図書検索、レファレンス、著作権研修の実施、さらに人権研修やメンタルヘルス等の研修を実施した。 ・平成25年度、平成26年度と続けて図書修理研修を実施し、市民の財産である図書館資料の保存と市民利用に供せるよう職員の資質の向上を図った。	○	
	5-3	適 切 な 蔵 書 管 理	① 図書館資料の適正管理を徹底するため、短期休館による蔵書点検を全館で実施する。	・図書館資料の適正管理を徹底するため、市駅前サテライトを含む全館で短期休館による蔵書点検を実施する。	(平成23年度)図書館資料の適正管理を徹底するため、市駅前サテライトで蔵書点検を開始し(点検期間1日)、それ以降毎年度実施している。 (毎年度)分室は全室全体で1週間、中央・分館は休館期間をずらし、各1週間程度、全体として4週間で蔵書点検を実施した。休館後の図書整理日を臨時開館するなど、利用者の利便性に配慮した。	○	
			② 図書館分館にBDS(図書盗難防止装置)を導入するとともに図書館分室への防犯カメラの設置を検討する。	・各分館にBDS(図書盗難防止装置)を設置する。 ・分室への防犯カメラ設置について検討する。	(平成23年度)各分館・市駅前サテライトにBDS(盗難防止装置)を設置した。 (平成25年度)職員から死角となる部分を減らすため、宮之阪・村野・枚方公園・香里園・藤阪・氷室の6分室に防犯ミラーを設置した。(分室への防犯カメラは設置要件等に問題があり、防犯ミラーとなった。)	○	分室へのBDS設置については、27年度検討中である分室自体の運営について方向付けを行った後に、利用状況、施設状況を合わせて判断する。
			③ 長期延滞等の悪質なルール違反に対する厳正な措置をとる。	・長期延滞等の利用者に対する貸出制限について検討し、枚方市立図書館条例施行規則の改正を行う。 ・長期延滞者に対する貸出制限を継続する。	(平成23年度)平成23年12月に枚方市立図書館条例施行規則を改正し、長期延滞の利用者に対する貸出制限を設けた。 (平成24年度)貸出延長ルールの厳正化や家族間での予約受取りルールなどを整備した。平成24年4月1日から枚方市立図書館条例施行規則を施行。貸出制限者は81人。 (平成25年度)貸出制限者、計測なし。 (平成26年度)貸出制限者106人。	○	
	5-4	な機 械の 化 検・ 討 情 報 化	① 自動貸出機等図書館サービス用機器について、その機能や費用対効果について研究・検討し、メリットが明らかな機器を積極的に導入する。	・自動貸出機等図書館サービス用機器について、その機能や費用対効果について研究・検討し、メリットが明らかな機器を積極的に導入する。	(平成23年度)中央図書館に自動貸出機を1台増設した。 ・平成23年度末までの6ヶ月間で、自動貸出機の利用実績は利用者数3,742人、貸出冊数12,349冊 (平成24年度)利用者数7,760人、貸出冊数25,961冊 (平成25年度)利用者数4,183人、貸出冊数13,622冊 (平成26年度)利用者数1,955人、貸出冊数6,096冊	○	

(注釈)

- ★注1 実利用者率…枚方市の人口に対する、年度中に1回以上枚方市立図書館で貸出サービスを利用した人の割合。
- ★注2 ヤングアダルト(YA)…図書館サービスの対象としてのヤングアダルトは、主に中学生・高校生を指す。
- ★注3 商用オンラインデータベース…ネットワークを経由し遠隔地から利用できる企業などが開発・構築し、販売しているデータベースの総称。
- ★注4 PDF…Portable Document Format の略称で紙に印刷するのと同じ状態のページを保存するファイル形式。
- ★注5 バスファインダー…特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内。
- ★注6 相互貸借…図書館利用者の求めに応じて、図書館同士が所蔵している資料を貸し借りすること。
- ★注7 レファレンス協同データベース…国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、調べ物のためのデータベース
- ★注8 デイジー…視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためのデジタル録音図書の国際標準規格。
- ★注9 LL版…「LL」とはスウェーデン語の「やさしく読める」の意。図や写真を多く使うなどの工夫をして書かれたもの。